

平成 31 年 3 月 7 日 00420 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】北見市武道振興協議会評議員会・新年交礼会が開催！



平成 31 年度北見市武道振興協議会（武藤弘司会長）が主催する評議員会並びに新年交礼会が市内の玉寿し本店で開催されました。評議員会では平成 30 年度報告事項・平成 31 年度計画案が審議され議案通り実施予定となりました。交礼会では北見市長、市議会議長を始め多くの来賓を迎えて楽しく和やかに行われました。

小さなお客様！袴田悠琥君と袴田彪心君 袴田悠琥くん（はかまだゆうじゅ）8歳と袴田彪心くん（ひゅうご）5歳が今日のお客様です。2人は柔道を習う仲の良い兄弟で、火曜日と水曜日の週2回午後7時から光柔会で柔道を練習しています。武道館には4団体の柔道少年団が集い、曜日ごとに利用団体が変わります。弟のヒュウゴ君は1年前から始めました。負けん気も強く悔し泣きをしていることも有りましたが、最近では体もできて柔道着姿も格好良くさまになってきました。〈佐藤〉



武道振興協会事務所の花シリーズ 「えびね欄」

日本名は、「えびね欄」で、香り豊かなランの花です。丈 20 cmにスズランの葉に似た茎からピンクの花がびっしりと咲いています。やや2年ぶりに妹の家で見ました。スズランの花のようにびっしりとピンクの花弁に白の唇弁色が咲いています。姉妹して花大好き人間です。〈渋谷〉



連載「武道宝鑑」第21弾「竹内流腰廻り講道館柔道まで」

(13回目) 講道館七段 櫻庭 武

支那から系統をひいていると称するものには、起倒流のほか、揚心流がある。陳元賛の帰化と同じ頃、長崎に秋山四郎兵衛義時なる小兒医者あり、医学修行のため漢土に渡った際、博轉なるものより、柔術三手を習い、帰朝後、大宰府の天満宮に百日参籠して、揚心流を大成したという。徳川家重の頃、山本民左衛門この流派より眞神道流を創め、幕末文久年間に至りて磯又右衛門出で、揚心、眞神道二流を学び、之を合わせて天神眞揚流を立て、大いに流名をあげた。なお揚心流には、徳川の初世、三浦揚心なるもんが始めたと称するものもある。揚心も秋山と同じく長崎の医師であったが、人の病を得るは、多くは坐食して心神を飽倦せしむるによる。故に之を未萌に避けるため・・・つづく